

企業・オフィス誘致の促進 DX・スタートアップを支援

予算額計：1,350万円
(繰越明許：7,940万円)

新産業団地の開拓

企業誘致

正蓮寺、安宅新に続く
新たな産業団地の整備

予算額(繰越明許)
7,940万円

[R4]
適地調査



[R5]
候補地 3 カ所で可能性調査

正蓮寺産業団地



CKD(株) 北陸工場
(R6年4月 操業開始)

安宅新産業団地



4社の進出が決定
(残り 5 ha 公募中)

小松駅東地区複合ビル

オフィス誘致

- ▶ 北陸電力と小松市が連携して
整備する複合施設
- ▶ 4 階オフィステナントへの
進出企業を公募



R7年 夏
完成予定

公募手法

- ① アナザーワークスでの**複業人材活用**
(委託料：200万円、出来高報酬：100万円)
- ② C B R E (大手不動産コンサルティング会社) による
情報発信、仲介

予算額
300万円

DX推進伴走支援モデル事業

モデル事業者の**DX化**と**産業競争力の**
強化を図り、取組事例を創出・公表

予算額
750万円

- 対象経費：DX取組みのコンサルタント費用
- 補助率：1/2
- 上限額：150万円



こまつスタートアップラボ

起業家輩出・スタートアップ企業創出で
地域経済活力を向上

予算額
300万円

- ▶ 現役起業家による**育成支援プログラム**
(こまつ創業塾と連携)
- ▶ 最終回に**コンテスト**を開催し、優秀者に賞金贈呈



地産地消・食育推進費 予算額:480万円

小松産ブランド米の学校給食提供

【目的】 地元産材の地産地消、子ども達の地元農産物への愛着、環境保全型農業推進

【内容】 学校給食を通常の「コシヒカリ」から「**蛍米**」に変更
旬の地元野菜5品に**タケノコ**を追加

【期間】 R6.10～2月の5ヶ月
うち3回「**えちやけな**」



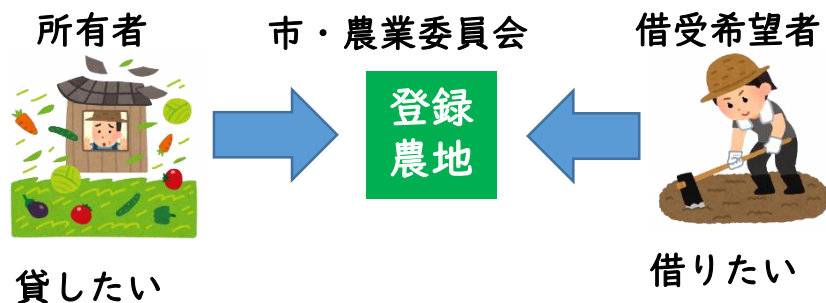
遊休農地活用支援費 予算額: 50万円

遊休農地整備に奨励金交付

【目的】 遊休農地の解消、農業者の解消意欲向上

【内容】 マッチング事業で市・農業委員会が登録している遊休農地を借受希望者が整備 **奨励金: 2万円/10a**

マッチング事業



若い世代への農業の理解と魅力の向上
農地の維持と新たな担い手育成の促進



人が農業を発展させ農業が人を育む好循環

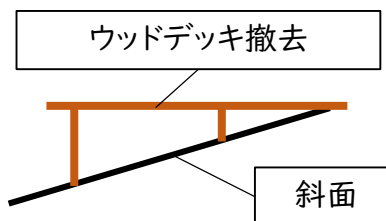


施設の「利便性」、「安全性」、「魅力」を高める様々な改修を実施

キャンプ場整備工事

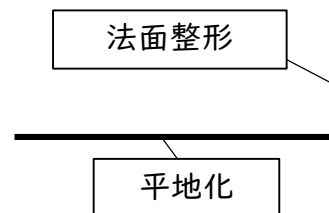


利用者ニーズと維持費抑制に対応



【現状】

- ・テントが制限
- ・毎年修繕が必要



【整備後】

- ・様々なテント規格に対応
- ・修繕費の抑制

炊事場給湯器設置工事



利便性の向上

炊事場2箇所（オートキャンプ場・キャンプ場に給湯器を設置

ロープ柵改修工事



安全性と景観の確保

アスレチック広場のロープ柵
欠損箇所を修繕

複合遊具修繕工事



安全性確保

遊具の点検・修繕

利用者の増加・交流人口の拡大！
農山村地域のさらなる活性化！

◆小松駅周辺整備のあゆみ

- 1993 (H5) 年度

2012 (H23) 年 5月

2012 (H24) 年 6月

2014 (H26) 年 3月

2017 (H29) 年12月

2022 (R 4) 年 8月

2022 (R 4) 年 9月

2023 (R 5) 年 3月

2023 (R 5) 年 9月

2024 (R 6) 年 3月
- 連続立体交差・駅東西土地地区画整理 事業着手
2004 (H16) 年 3月 事業完了

● こまつの杜 オープン

● 北陸新幹線金沢・敦賀間 認可

● サイエンスヒルズこまつ オープン

● こまつアズスクエア オープン

● 新幹線駅舎工事完成

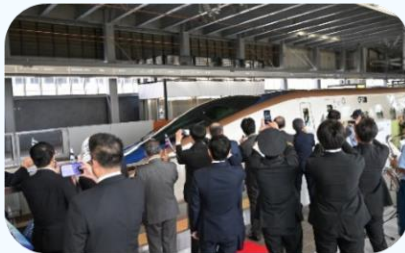
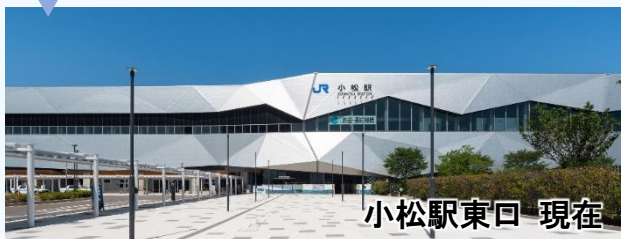
● 東口広場 供用開始

● 西口広場、南口バスのりば 供用開始

● 小松市観光交流センター「Komatsu九」オープン

● **北陸新幹線小松駅開業**
- 高架事業着手から約30年

高架事業完了から20年



進化する小松駅周辺
更に魅力的で便利なエリアに

小松北電ビル
小松駅東地区複合ビル
2025 (R7) 年 夏完成予定
事業主体：北電産業小松ビル合同会社

予算市政 次世代交通の確立に向けて

予算額計：
1億4,200万円（R6 当初）
360万円（3月補正）

自動運転バス 3月9日（土）路線運行を開始

新幹線駅・空港間のアクセスを強化
レール&フライトを拡大

運行ダイヤ

小松駅 発	小松空港 発
8:10	9:05
9:30	9:55
11:05	13:05
13:30	14:05
14:50	-
16:20	16:50

【運行概要】

- ▶ 1日5.5往復運行
- ▶ 駅・空港間を途中停留所なしで接続
- ▶ 自動運転時の最高速度 時速35km
- ▶ 当面は、乗車は着席のみ（客席15席）
- ▶ 大人280円、小児140円
- ▶ 交通系ICカードでの支払いに対応

自動運転レベル4に向けた取組も推進

（システムによる監視・特定条件下における完全自動運転）

運行開始に先立ちお披露目式を開催

自動運転バスの出発に向けた 機運の醸成と地域理解促進

日時：3月3日（日）13時00分～

会場：サイエンスヒルズこまつ

- ◎ セレモニー、車両紹介
- ◎ 自動運転シンポジウム
- ◎ 試乗会



予算額：9,800万円



ライドシェア

予算額：4,400万円
（3月補正）360万円

先進技術や新制度を効果的に活用

地域全体として持続可能な公共交通へ転換

「自治体ライドシェア」の取組も推進

人手不足解消・地震からの復興
新幹線開業・市民移動の確保

令和6年3月16日 北陸新幹線 小松駅開業

100年に1度の好機

国際空港と新幹線駅がある
全国から注目される都市



小松市の魅力

温泉・観光

おもてなし

スポーツ

伝統の技・食

自然・文化

◆日本海側最大の拠点都市

◆世界各国、日本各地と
人やモノが交わりにぎやかに
成長するウラ日本のモデル都市

交流の拡大
経済の活力



首都圏・新幹線沿線等からの誘客

ビジネス・観光・MICEの開催を促進



全国花のまちづくり
小松大会開催費 1,500万円

小松駅周辺を会場に

◆花と緑のまちづくり全国首長会

○総会：5/9(木), 5/10(金)

◆全国花のまちづくり小松大会

○式典・交流会：5/25(土)

○現地見学会：5/26(日)



各種スポーツ大会開催費
1,300万円

◆全国大会等を誘致・開催支援

◆スポーツを通じた交流の促進

7月：カヌー

9月：カヌー、ソフトテニス、剣道

10月：野球 など



商工業振興費
800万円 [R5当初]

◆日本商工会議所青年部
第43回全国大会
加賀能登の國いしかわ小松大会

○会員総会：3/15(金)

○記念式典：3/16(土)

『がんばろう石川 能登とともに』 小松から石川県全体に元気を伝えていきます



ベルギー・ビルボード市

1974年 姉妹都市提携締結



姉妹都市提携50周年を記念し
代表訪問団の相互派遣を実施

小松市代表訪問団派遣

期間：2024年4月20日（土）～26日（金）
団員：市長、議長を含む6名（予定）
内容：記念式典、今後の交流に向けた協議等

ビルボード市代表訪問団受入

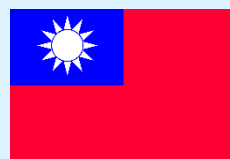
期間：2024年5月26日（日）～31日（金）
団員：市長、議長を含む6名
内容：歓迎式典、記念植樹等



姉妹都市提携40周年を記念し
寄贈いただいたローズガーデン



2014年代表訪問団
受入の様子



台湾・彰化市

2019年 友好都市提携締結



彰化市から代表訪問団を受入
青少年交流再開に向け協議

小松市代表訪問団派遣（2023年7月）

小松市代表訪問団が
彰化市を訪問し彰化市と
青少年交流の再開を合意



彰化市代表訪問団受入（2024年秋）

彰化市からの代表訪問団を受入し交流を促進

青少年交流

2025年度の交流再開
訪問団の派遣に向けて
彰化市と協議・調整

過去3度小松市から中高生を
派遣し国際感覚を育成



予算 都市基盤のさらなる拡充

予算額計：1億9,700万円

次期都市計画道路

都市計画道路調査費

予算額:1,000万円

- 新規整備路線として（都）今江三谷線の未整備区間を整備し、外環状道路の道路網を完成させ、市街地周辺の「交通の円滑化」を図ります

令和6年度より着手 L=450m
道路予備設計、踏切対策協議



交通網整備方針（小松市都市計画マスタープラン）



整備済み区間



新今江踏切

栗津駅周辺整備費

栗津駅周辺整備費

予算額:1億8,700万円

- 栗津駅の東西自由通路を核とした駅周辺の整備を行い、「より使いやすい」、「安全・安心」な駅を目指します
- ◆ スケジュール（予定）
 - ・ R5年度末：都市計画決定（自由通路、駅西広場）
 - ・ **R6年度～：事業用地取得**
 - ・ R7年度～：工事着手
 - ・ R10年度末：完成

栗津駅周辺整備イメージ



予算 歴史文化資源の磨き上げ・価値の向上

予算額計：2,585万円

歴史資産の調査・整備を進め**魅力アップ**を図ります

こまつ歴史回廊調査費

予算額：500万円

加賀立国1200年から次の展開へ

①加賀国府跡の探求（継続）

- ・石部神社（総社推定地）の調査
- ・国府関連遺跡出土品の整理

➡ 国府関連歴史資産の充実



②白山信仰関連遺跡の魅力UP

- ・那谷寺遺跡の調査（地形測量、トレンチ調査）

➡ 利常再興以前の信仰の源流を探り、新たな価値付け



③2市連携による遺跡魅力発信（継続）

- ・能美市と連携、「古墳」をPR
- ・大学・市民連携で活性化プラン推進

➡ 南加賀全体で魅力発信を展開

歴史資産の魅力でつなぐ
こまつ歴史回廊！



尾小屋鉱山資料館周辺持続活性化事業費

予算額：2,085万円

近代産業遺産のさらなる魅力発信に向けて

【R5年度】

- ・マインロード維持管理計画の策定
- ・持続活性化案の検討（地元活動団体等とともに）



【R6年度】

- ・維持管理計画に基づく
マインロード応急復旧工の実施設計
- ・持続活性化構想の策定

R7年度以降のマインロードの復旧工やリニューアル
資料館周辺の文化観光の整備へとつなげていく

県による資料館のリニューアルとともに
尾小屋における文化観光資源の価値を向上



石川県立尾小屋鉱山資料館



尾小屋マインロード



ポッポ汽車展示館

末広野球場改修費

予算額
4億1,300万円

弁慶スタジアム(末広野球場)リニューアル



事業費総額
6億8,300万円
(R5 :2億7,000万円)

<改修内容>

- ・屋外ナイター照明 LED化
- ・施設内照明 LED化
- ・スコアボード フルスクリーン化
- ・内野グラウンド排水
- ・外野アンツーカ舗装改修
- ・クッションフェンス改修

🏟 ナイターゲームの
実施が可能に!



<スケジュール>

令和6年 4月 電気設備関係工事 着工
10月 グラウンド関係工事 着工
令和7年 3月 工事完成
～供用再開～

末広体育館改修費

予算額
2億4,400万円

義経アリーナ(末広体育館)リニューアル



予算総額
6億800万円
(R7債務負担 :3億6,400万円)

<改修内容(予定)>

- ・空調設備新設
- ・受変電設備改修
- ・アリーナ床全面改修
- ・施設内照明 LED化
- ・エントランス内装改修

🏟 プロスポーツを
誘致できる仕様に!



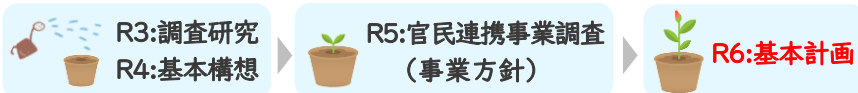
(令和6・7年度工事)

<スケジュール(予定)>

令和6年10月 工事入札
12月 本契約(議会承認の上)
令和7年 4月 工事着手
12月 工事完成
令和8年 1月 ～供用再開～

未来型図書館づくり推進費【5,230万円】

未来型図書館等複合施設の**基本計画**策定



主な業務内容

- 1 **複合施設の整備計画の作成**
 - ・各機能（諸室）の構成・規模
 - ・平面・立面計画、利用者動線、付帯設備
 - ・敷地内施設配置、景観等
- 2 **複合施設の管理運営・サービス計画の作成**
 - ・管理運営体制（公民連携含む複数案）
 - ・本棚構成や蔵書・資料収集、学校図書館等との連携
 - ・図書館、博物館の融合展示、資料活用
- 3 **事業計画の作成**
 - ・最適な事業手法の検討・決定（PFI方式等）
 - ・概算事業費・VFMの算定
 - ・事業スケジュール
- 4 **公園整備・関連事業計画の作成**
 - ・既存施設の跡地活用（広場・民間収益施設）
 - ・関連事業（駐車場等）
- 5 **民間事業者との対話「サウンディング型市場調査」**
 - ・民間機能の導入可能性、事業への参入意欲

対話と活動の場「こまつリビングラボ」の企画・運営

- オープンかつフラットな対話の場を通じて基本計画づくりを**市民と共に推進**
- アドバイザーの設置（専門家による基本計画策定に向けた助言
リビングラボの企画・運営をコーディネート）



各種調査等

施設整備に向けた各種調査・活動を支える人材育成

- 芦城公園の敷地測量
- 既存施設のアスベスト調査（公会堂・博物館・図書館等）
- 子ども司書・図書館エディターの養成・スキルアップ

基金

社会教育振興基金積立金【3,000万円】

- 【財源】特定防衛施設周辺整備調整交付金（9条）
- 【目的】備品等の購入へ活用（財政負担抑制や安定的な運営）

芦城公園エリアを大転換させる市の**総合プロジェクト**

予算 市営住宅跡地の新たな活用に向けて

(旧本江町住宅)

予算額：390万円

～「子育てするならダントツ小松」の居住環境づくりの検討～

事業（案）

- ・ 既存住宅の解体（4棟18戸、688㎡）
- ・ 子育て世帯向け市営戸建て賃貸住宅の整備
- ・ 分譲宅地の整備



旧本江町住宅



完成イメージ

民間の技術力、ノウハウを活用したPFI手法を検討

効果

解体による安心・安全
の確保



良質な住居等の供給



地域コミュニティの
維持・活性化



スケジュール (予定)

令和6年 5月～
令和6年10月頃～
令和7年 7月頃
令和8年度中

事前調査、検討開始
PFI事業者公募開始
事業着手
事業完成

R6 予算内容

- ・ 解体に向けたアスベスト調査
- ・ 宅地整備のための敷地測量
- ・ 建物の安全性検討に向けた地盤調査



イオンモール新小松へ

旧本江町住宅 敷地

主要地方道金沢・小松線

東山ICへ

公共施設マネジメント ① 公共施設の現状

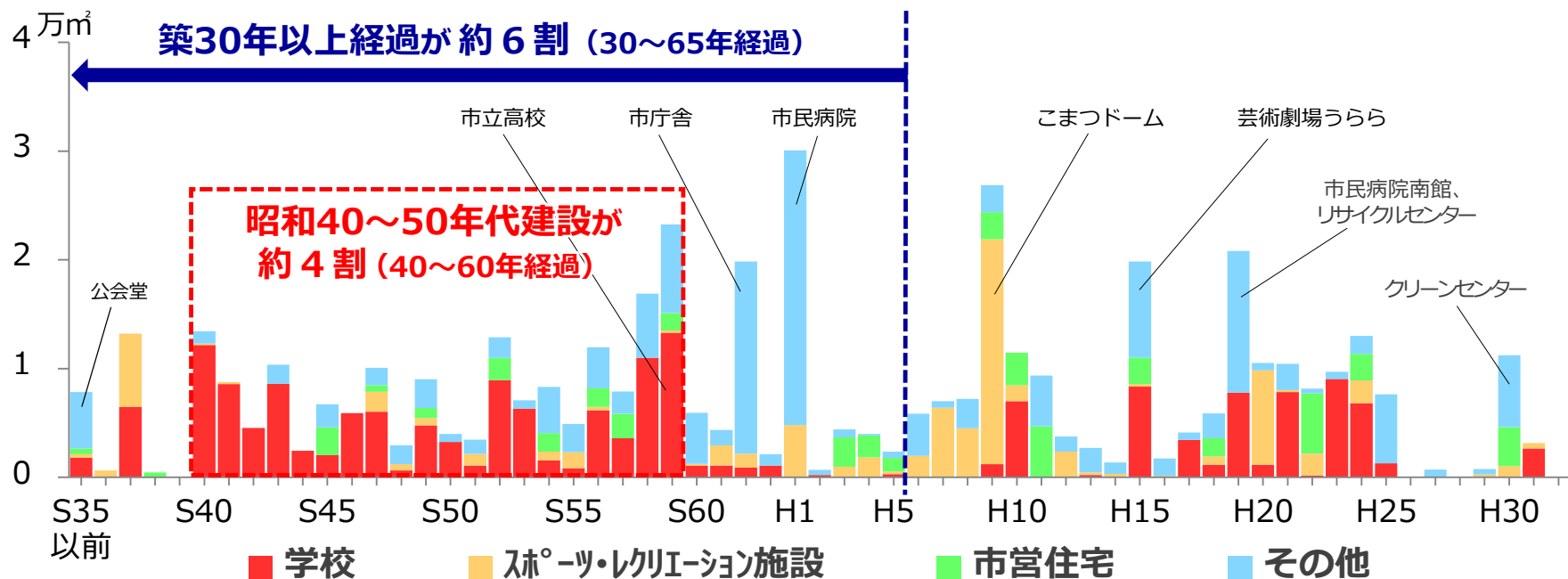
- ▶ 大小 **約300** の**公共施設** 学校、病院、子育て・福祉施設、スポーツ・文化施設、劇場・音楽ホール etc.
- ▶ 多くが人口増加時期の **昭和40～50年代** に建設
- ▶ 現在 **約6割** の建物が**築30年以上経過**

今後、**更新（建替え・大規模改修）**が
必要な時期を一斉に迎える

公共インフラについては…

- ▶ 道路や橋梁・上下水道施設などの**6割以上**が30年以上経過
- ▶ これらは**市民の生命・財産を守る**重要資産。強靱化や機能充実が必要

■ 建物延床面積（全施設合計 47.4万㎡） ←※ T D L 園内面積（約51万㎡）と同程度の規模



公共施設マネジメント ② 人口減少時代の財政運営

▶ 少子・高齢化による 人口構造の変化 と急速な 人口減少

☞ 財政（税収・社会保障費等）や利用者数・利用ニーズ等に影響

▶ 増大する更新費用と維持管理費用、他の公共サービスへの影響

※ランニングコストはイニシャルコストの約4倍

厳しい財政状況のもと 全ての施設をそのまま残していくことは **次世代への重い負担** に

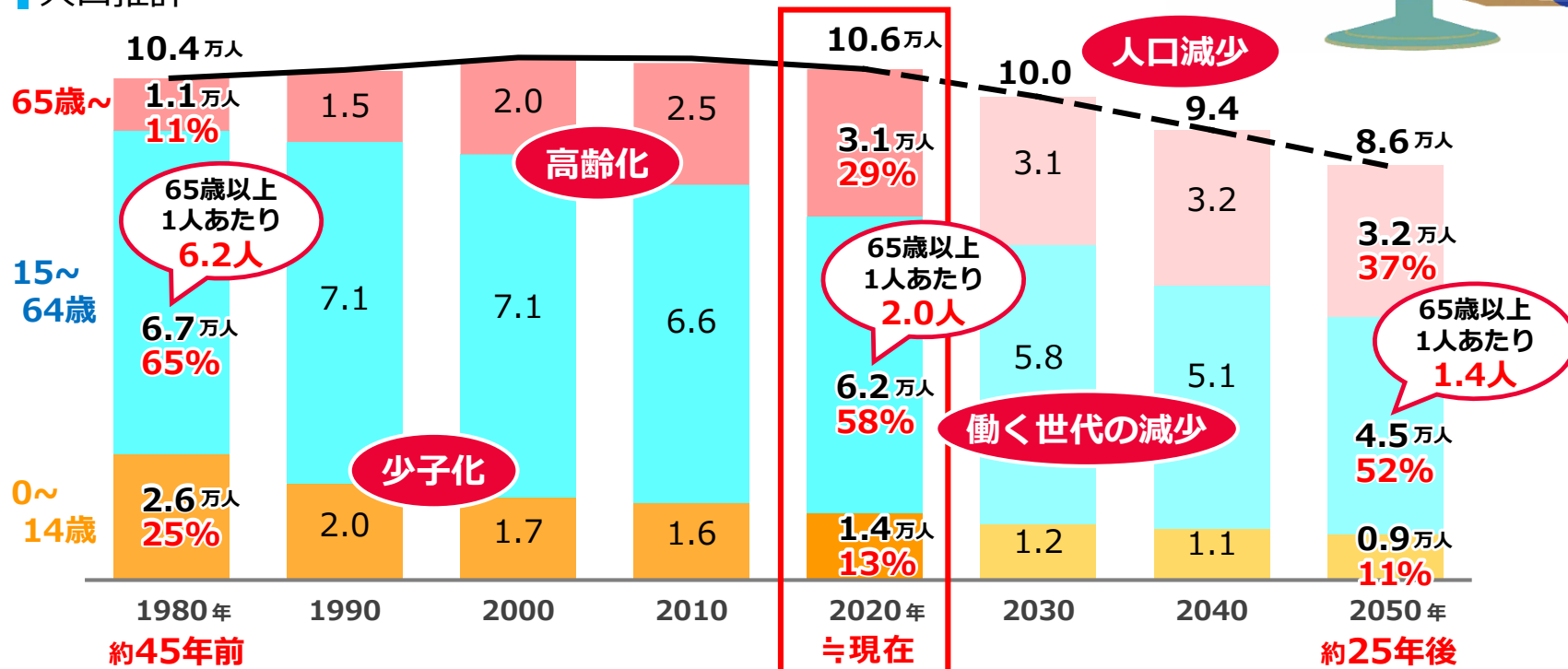
■ 更新費用

▼ 建築資材高騰、労務単価上昇等で費用が更に増加する見込み

直近10年間の
投資的経費実績
87億円/年

今後40年間の
更新費用試算
103億円/年

■ 人口推計



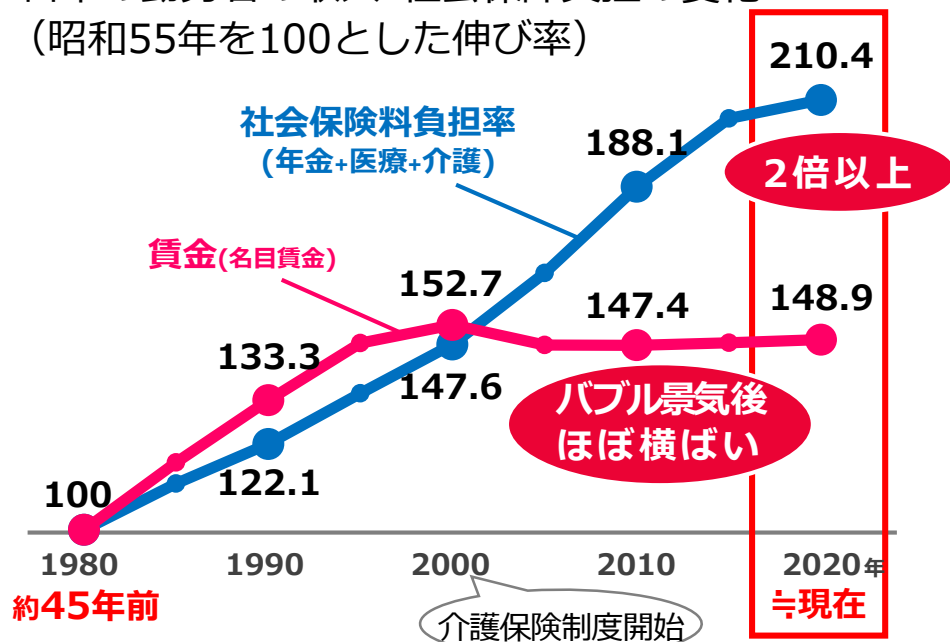
参考 人口構造の変化による影響

▶ 少子・高齢化による 人口構造の変化

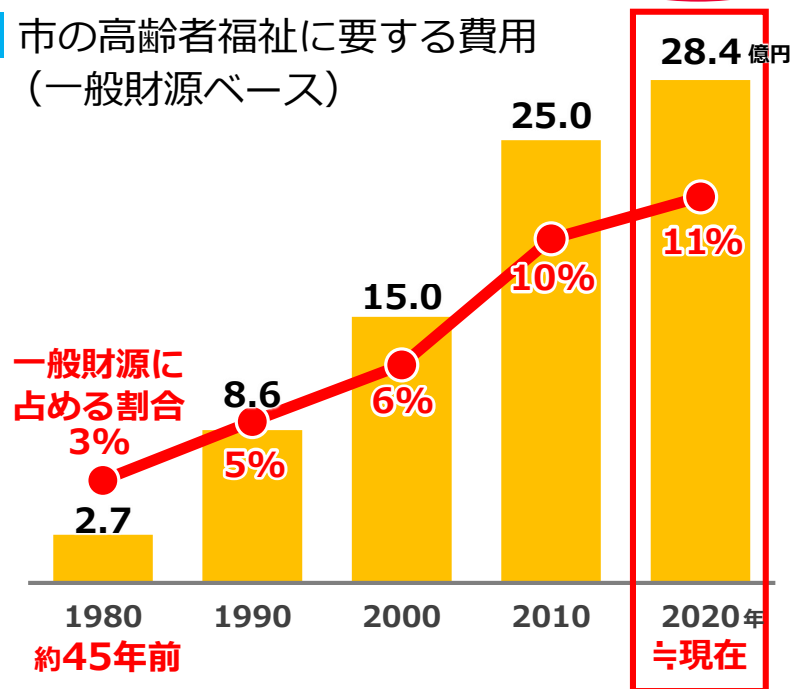
☞ 社会保障等への 働く世代の負担・財政負担が大きく増加

世代間の負担を熟慮したまちづくり感覚が必要

日本の勤労者の収入・社会保障負担の変化
(昭和55年を100とした伸び率)



市の高齢者福祉に要する費用
(一般財源ベース)



※ 標準報酬月額 30万円の勤労者

社会保険料負担額： 1980年 33.7万円/年 ▶ 2020年 67.7万円/年

※ 租税負担も増加

・ 租税負担率 (国民負担率の内数) : 1980年 21.7% ▶ 2023年見通し 28.1%

・ 消費税 を社会保障財源として導入：1989年 税率3% (1997年～ 5% ・ 2014年～ 8%) ▶ 2019年～ 10%

公共施設マネジメント ③ より良い未来に向けて

▶ まちの健全な維持・発展のため、公共施設全体について

「時代変化の中 **本当に必要な施設** なのか」

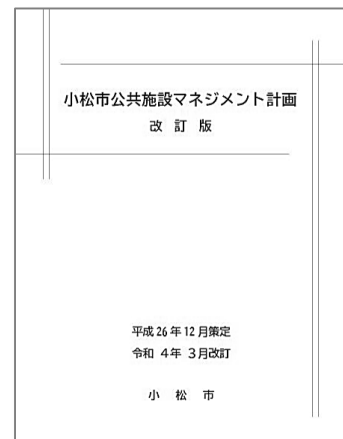
「より **効率的な整備・運営の方法** はないか」

「もっと **有効な活用方法** がないか」 等

自治体経営 の視点から **総合的・統括的** に考える必要

👉 **公共施設マネジメントの推進**

公共施設マネジメント計画▶



▶ 考え方

- 施設機能の充実
- 予防保全(長寿命化)の推進
- **民間活力** の活用(ノウハウ・投資等)
- **複合化** や **統合、廃止・処分** の推進 等

民間による活用

定住・雇用・産業など地域活性化
ひいては **税収にも寄与**

▶ 課題を先送りせず **より良い資産を未来に** つなぐ総合プロジェクト

👉 分野別やエリア別に施設のあり方を検討。未来志向で **大胆な見直し** にも着手

見直しを進めている施設の例



芦城公園エリア
公会堂(築64年)他



こまつドーム
(築26年)



千松閣
(築49年・休止中)



空き校舎
など